

長野信用金庫＝本社・居町＝は10日、企業の展示商談会「長野しんきんビジネスフェア2017」を若里のビッグハットで開いた。普段接

## 最多275団体出展 熱心に意見交換

しんきんビジネスフェア

た。14回目の今年は、過去最多となる275の企業・団体が出展。約2600人が来場し、新しいビジネスチャンスをつかもうと熱心に意見交換していくた。

土砂災害警報器の販売などを手掛け、近年小型無人機ドローンの販売にも力を入れている「システム」＝小島澤英司社長は「ドローンへの関心が高まって今年初めて参加。藤

点のない映像制作関連企業と接する機会が持てて良かった」と手応えを得ていた。  
超音波技術を使った噴霧器の製造などを手掛ける「星光技研」＝柳原＝は、噴射した霧を画面に見立ててイベントなどで演出に利用する開発段階の「ミストスクリーン」を展示し、注目を集めた。坂本真悟専務は「需

要の調査を兼ねて展示したが、今日で数件のオファーをもらえたので良かった。製品化を進めていきたい」と張り切っていた。  
長野信金による「ミストスクリーン」の出展者・来場者数は回を重ねるごとに増加し、初回から今年3月末までの商談のマッチング件数は181件に上っている。

